# 仕　様　書

## 消防ポンプ自動車
## ［ＣＤ－Ｉ型］

（令和９年度）

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

# 消防ポンプ自動車　ＣＤ-Ｉ型　艤装仕様書

## 第１　総　則

１　目　的

この仕様書は、安房郡市広域市町村圏事務組合（以下「組合」という。）が令和８年度に契約する、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（以下「車両」という。）の艤装、性能、積載器具及び検査時の基準、その他必要な事項一切を定める。

２　艤装概要

⑴　車両は、最新年度に公表製作されたもの、又はすべて新規製品のものでなければならない。

⑵　この車両の製作は、道路運送車両法（昭和２６年６月１日　法律第１８５号）並びに道路運送車両の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）等の関係する法令に適合し、関東陸運局の新規登録検査に合格するとともに、緊急自動車として千葉県公安委員会の承認が得られるものであること。

⑶　車両製作に際し、「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和６１年自治省令第２４号）に適合するものであること。

⑷　車両は、４WD方式３ｔ級シャシーを基としてＡ２級高圧ポンプ、ホース延長用資機材（以下「ホースカー」という。）動力昇降装置付を装備、防火水槽等の水利から自力吸放水できる機能を有し、定員５名以上で規格に適合し、本仕様書をすべて満足した車両であること。

⑸　製作に使用するすべての材料は、日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

※地域性に鑑み、塩害及びそれらに伴う腐食防止等、完全に対処しうる上質の材料とすること。

⑹　受注者は、この艤装に際して仕様の目的が十分達せられるよう製作し、技術上変更を要する場合及び、疑義のある場合は組合の承認を得なければならない。又契約後に生じた疑義は、すべて組合の解釈によるものとし、組合の出す新たな指示事項は、本仕様書と同等の扱いとすること。

⑺　この仕様書は、消防消第８０号　平成１９年５月１４日付「消防車両の安全基準の周知徹底について」（総務省消防庁　消防・救急課長通知）「消防用車両の安全基準について・消防ポンプ自動車編」にすべて準ずるものとし、製造工場については品質管理システム（IS09001認証取得）を構築していること。また、環境に配慮したIS014001認証取得工場で製作するものとする。消防自動車として求められる長期の使用に耐え得る強度と耐久性を有するよう施工すること。

⑻　この仕様書に記載されていないものでも、消防自動車として当然備えていなければならないものは施工すること。

⑼　受注者は、この艤装に際して総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを十分考慮して製作すること。

⑽　受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他の権利上の問題が発生した場合には、その責任のすべてを負うものとする。

⑾　受注者は、この艤装が完全かつ強固に、安全性を十分考慮して完成するよう事前に検討し、契約後１週間以内に組合と細部にわたって十分に打ち合わせを行い、工程に支障のないように確認すること。その後、１週間以内に打ち合わせ議事録を１部組合に提出すること。

⑿　納入後２年以内に生じた設計、資機材その他工作上の不備、故障又は破損の一切は受注者の負担とし、連絡を受けたら即日引き取りを行い、２日以内に入庫しすみやかに修理すること。

⒀　受注者は、運用開始後に改善すべき事柄が発生した場合、上記⑿と同様に対処すること。

⒁　受注者は、保証については定められた期間とするが、保障期間後といえども設計不良、工作不良に起因する不都合箇所が発生した場合は、上記⑿と同様に対処すること。

⒂　軽微な修理、部品交換等の場合も、必ず消防ポンプ自動車に関する確かな技術を有する担当者が上記⑿と同様に来署し組合の指示に従い、その場で修理、又は部品交換等を行うこと。

⒃　緊急的な要請時、又は緊急的な修理には、必ず消防ポンプ自動車に関する確かな技術を有する担当者が、６時間以内に来署し速やかに対処すること。

⒄　運用を加味した重量で車検登録を行うこと。（別途協議）

３　提出書類

提出書類は下記のものを２部作成し、ファイルに収めたものを提出すること。

⑴　製作に先だち受注者は、本仕様の全般を確認しＣＤ－Ⅰ型の用途が十分に果たされるよう留意するとともに、次のものを提出し組合の承認を受けること。

ア　設計図（五面）２０分の１（附属品等取付図含む）

イ　ポンプ搭載図及びポンプ配管図

ウ　シャシー諸元表

エ　車体骨組図

オ　エンジン性能表

カ　工程表

キ　ホース延長用資機材（動力昇降装置含む）製作図

ク　積載梯子昇降装置製作図

ケ　ポンプ主要部品一覧表

コ　その他組合の指示するもの

⑵　車両納入時、次のものを提出すること。

ア　検査合格証（写）

イ　ポンプ性能検査表

ウ　完成図（五面）

エ　ポンプ取扱い説明書

オ　写真　前後、左右、上部面、転覆角度検査、重量実測検査　（データでも可）

カ　各資機材取扱い説明書（各種動力昇降装置・積載資機材関係）

キ　緊急自動車届出関係書類

ク　その他組合の指示するもの

4　検　査

艤装中に工程確認、指示又は検査のため組合が工場に出向するが、正当な理由なく拒むことができない。指示又は検査のため、組合が進捗状況の報告を求めた時は、パソコンのメールにて写真・動画等で報告すること。

指示又は指摘箇所が発生した場合は、速やかに修正を行いその結果をパソコンのメールにて写真・動画等で報告し、承認を得なければならない。検査の結果、組合が不合格と認めた場合軽微なものは即日、重大な修正が必要な場合であっても５日以内に修正作業を行い、再検査を受けること。

⑴　納入前に、中間検査を行う。中間検査は基本的に１回とするが、組合が不適当と認める場合及び疑義が多数発生した場合等は、中間検査の回数に制限は設けない。

検査に係る費用は受注者の負担とするが、検査に係る旅費は組合が負担する。

⑵　納入時に、完成検査を行うとともに性能検査及び員数検査も行う。検査に合格しなければ組合は納入を一切拒否する。物品の員数不足等にあっても同様とする。そのため納入期限が遅延しても、その責任は受注者が完全に負うこと。

⑶　完成車両は、日本消防検定協会及び関東陸運局千葉陸運支局袖ヶ浦自動車検査登録事務所の車両検査に合格したもの（新規登録手続完了）を組合に納入すること。

5　手続き等

次の事項に係る手続き等は受注者が代行し、検査を伴うものにあってはこれに合格後、納入すること。

⑴　関東陸運局の車体検査に関すること。

⑵　千葉県公安委員会の緊急自動車等の指定申請（届出）に関すること。

⑶　当組合の更新対象車両の一時抹消登録を代行すること。また、更新対象車両のシール、サイレンアンプ及び赤色灯等を取り外すこと。（時期については別途指示）

⑷　車両ナンバーは希望ナンバーとする。（別途協議）

6　シャシー主要諸元

組合の車両に使用するシャシーは次のとおりとする。

⑴　性能、寸法及び諸元

ア　定　　員　　５名以上

| | | |
|---|---|---|
| イ　型　　式 | | ディーゼル |
| ウ　駆動方式 | | ４WD |
| エ　総排気量 | | ４０００ｃｃ以上 |
| オ　最大出力 | （ｋW／rpm） | １１０ｋW／２３００rpm以上 |
| カ　消防検定出力 | （ｋW／rpm） | １１０ｋW／２３００rpm以上 |
| キ　最大トルク | (kg.m／rpm) | ４４．9kg.m／２３００rpm以上 |
| ク　寸　　法 | （全　長） | ５８００㎜以下 |
| | （全　幅） | １９００㎜以下 |
| | （全　高） | ３０００㎜以下 |
| | （ホイールベース） | ２８００㎜以上 |
| ケ　変速機 | | オートマチック |
| コ　オイルクーラー | | 水冷内蔵式 |
| サ　オルタネーター | | ２４Ｖ－８０Ａ以上で消防活動において照明及び付属品等が十分使用できる発電能力を有するもの |
| シ　燃料タンク | | ７０Ｌ前後のもの |
| ス　蓄電池容量 | | １０５E４１R（同等以上）×２ |
| セ　タイヤ | | 全天候型ラジアルタイヤ×７（スペアタイヤ１本ホイール付き含む） |
| ソ　ホイール | | スチール製 |
| タ　制動装置 | | EBD機能付ABS |
| チ　安全装置 | | 運転席エアバッグ |
| ツ　オイルパンヒーター | | コンセント（規格別途指示）は右側運転席側とし、外部電源コード１５ｍコネクター付き（車両側マグネット式） |

⑵　その他

ア　パワーステアリング（シャシーメーカー純正品）

イ　電動キャブチルト（シャシーメーカー純正品　電動油圧式　チルトシリンダー２本）

ウ　サイドバイザー（シャシーメーカー純正品　ドア上部の前後左右）

エ　泥よけ（シャシーメーカー純正品　全輪）

※　特に指示のないものは標準装備とする。

## 第２　艤　装

１　車体構造

⑴　ＣＤ－Ｉ型としての用途に合致した精度と強度を有するものであること。

⑵　安全に係る構造部分の強度については、強度計算書等により確認されていること。

⑶　ポンプ、ホースカー等の重量物の取り付け部、ギヤケース、駆動ジョイント、ポンプシャフト等ポンプ駆動装置の荷重の加わる部分にあっては、十分な強度を有していることが強度計算等により確認されていること。

⑷　通路等の床及びその取り付け部は、踏み面にア及びイの外力を垂直方向に加えた場合、永久に変形が生じないこと。

ア　任意の場所の１２５㎜の直径に１８００Ｎの荷重とし、昇降用梯子にあっては、横桟中央１２５㎜の幅に１８００Ｎの等分布荷重とする。

イ　１㎡当たり一様に４５００Ｎの荷重

⑸　手摺りは、任意の点に９００Ｎの荷重を作用させた場合に永久に変形が生じないものであること。

⑹　ステップは、任意の点に１８００Ｎの荷重を作用させた場合に永久に変形が生じないものであること。

⑺　各積載品の取り付け金具等は９００Ｎ、固定用ベルトは５００Ｎの荷重を作用させた場合、永久に変形が生じないものであること。

２　艤装材料

使用される材料は、耐食性に優れたもの又は、必要に応じ防食処理が施されたものであり、難燃性の優れたもの及び経年劣化の少ない素材を適正に選定すること。

３　ポンプ

⑴　ポンプは、高圧１段ボリュートポンプとし、ポンプ装置の軸封部にメカニカルシールを使用して軸封部の密封性能及び耐久性能を大幅に高め、長期にわたりメンテナンス性の高い構造とすること。

⑵　性能は、Ａ－２級以上とする。

ア　規格放水圧力（０．８５Ｍｐａ）で毎分２３００Ｌ以上

イ　高圧放水圧力（１．４Ｍｐａ）で毎分２０００Ｌ以上

⑶　ポンプの材質は、軽量化と防錆性向上を図るため本体をアルミ製とすること。ただし、砂利等の混入にも対応できるよう強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鋳物製（ＢＣ製）又はアルミ製特殊コーティングを施したものとすること。ポンプの架装位置は努めてエンジン部に近づけ、かつ点検手入れに便利なよう堅固に取り付けること。

⑷　主ポンプ及び附属装置を支える鋼材は、溝型鋼等でシャシーフレームに堅固に取り付け、振動や衝撃等により緩みや変形等を生じないようにすること。

⑸　ポンプドレーンコックは、３０秒以内にポンプ内の残水を完全に排水できるものとすること。ポンプ室点検口は、ポンプ室前部、ポンプ室上部及びその他必要箇所に設けること。

⑹　ポンプ室前部側板は、点検に便利な構造とし、ポンプ室上部は出来る限り大きく開放出来る構造で取り外し可能とすること。

ポンプ室内にＬＥＤ照明灯を２箇所、堅固に取り付けること。

⑺　ドレーンの各配管の排出弁は、吸水系統と吐水系統に色分けし集中ドレーン方式とすること。

4　吸水装置

⑴　真空ポンプは、スペースの有効利用及び軽量化及びメンテナンス性の観点から真空ポンプを用いず、消火泡圧縮吐出装置のコンプレッサーから吐出される空気を利用して真空状態を形成し、揚水できる構造とすること。また、非常用真空状態形成装置として車載する空気呼吸器用ボンベを使用しての揚水が可能な構造であること。

⑵　真空ポンプの駆動接断は、電磁式又は電気式装置とし、左右いずれからでも操作が可能で、非常用の停止スイッチを設けること。

⑶　真空ポンプ作動時には自動的に適正回転が維持され、運転中の振動により取付け部に緩みが生じないよう、堅牢かつ確実に取り付けられ、振動、騒音、漏水、油漏れ等の異常が生じない構造とすること。

5　ポンプ調整装置・動力伝達装置

⑴　ポンプ運転のための動力取り出しは、車両の運行に影響を及ぼさず、動力が効率良く伝導され操作が容易にできる構造とすること。

⑵　スロットルダイヤルは、ポンプ室左右のいずれからでも各計器類を見ながら操作ができるように取り付け、円滑に微細な調整ができ、かつ振動等で変調しない調速ダイヤル式とすること。

⑶　ポンプの運転切換え操作は、運転席付近に設けたボタン式スイッチにより行えること。

⑷　ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全装置を設ける。

ア　スロットル固定

スロットル固定機能不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとすること。

イ　自動調圧機能

ポンプ圧力を任意に設定し、設定圧力以下になった場合は設定圧まで圧力を上昇させ、設定圧以上になった場合は設定圧まで圧力を下げる自動調圧装置をポンプ操作装置内に設ける。画面に表示された０．４～１．０Ｍｐａまでの７段階の設定ボタンを選択する事で自動的に圧力制御を行える構造とすること。また、前述以外の低圧・高圧での制御に対応する為、任意の圧力でも自動調圧機能が働く構造とすること。なお、スムーズに手動の放水操作に切替えができる様に手動のスロットルダイヤルを操作する事で自動調圧が解除される構造とし、自動調圧作動中においては手動のスロットルハンドルは勝手に動かない構造とすること。

ウ　スロットルインターロック

Ｐ．Ｔ．Ｏがつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示もＰ．Ｔ．

Oが入っている時のみ変化すること。

エ　流量計色分け表示

操作盤表示の流量計については、車体の左右に関わらず、両側面の放水口の流量が確認できること。また流量の表示は放水操作時の目安となるように、流量によって表示色が変化すること。

オ　緊急減圧機能

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

カ　高圧中継警報

自動調圧中に中継圧力が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点灯すること。

キ　低圧中継警報（水量不足表示）

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点灯すること。

ク　不調診断チャート機能

不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、エラー表示を液晶ディスプレイ内で確認できること。

ケ　不調監視機能

ＩｏＴ通信端末を用い、発生した不具合を受注者側に自動発信し、円滑な原因特定及び初動対応を可能にすること。

コ　ＤＰＲ警告機能

放水活動時に不意なエンジン停止を防ぐため、左右ポンプ操作液晶モニタに、 DPR 堆積量表示を設け、一定の堆積量に達した際には警告表示する機能の有すること。

サ　自動修正時計

自動補正機能付きのデジタル時計(年月日付表示)を左右ポンプ操作液晶モニタに設けること。

⑸　機関員の安全確認のため各放水口に流量計を設け、筒先員数の安全基準流量を判断しやすく０ ～４５０ℓ まで、４５１～６００ℓ まで、６０１ℓ ～でそれぞれ色を変化し表示すること。

6　水槽

⑴　水槽は、ポンプ室上部に設け容量600ℓ のＦＲＰ(繊維強化プラスチック)製とすること。

⑵　水槽左右側面付近に水量計を取り付けること。

⑶　水槽左右側面に他よりの補給口（積水口・シャットオフバルブ付）を各1個、下部にドレン、上部にオーバーフロー及びマンホールを設けること。

⑷　水槽への水の補給条件（送水圧力）が表示されていること。

⑸　水槽とポンプの給水側との間に75mm電動ボールコックを設け、可撓管継手を介して配管する。
⑹　水槽への送水圧は0.35Mpa以上確保すること。
⑺　一般水道ホースにて、水槽に積水ができるように、コック付媒介を付属すること。
⑻　右液晶パネル内に電子水位計を表示すること。

7　圧縮空気泡消火装置

⑴　圧縮空気泡消火装置(ＣＡＦＳ)は、水ポンプから送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液に、コンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火ができるものとする。また、空水比が５倍～10倍の消火、火炎鎮圧用湿式泡（ウエット泡）と、空水比が16～20倍の延焼防止、残火処理用乾式泡（ドライ泡）の２種類の泡について、泡専用の管鎗を用いることなく吐出可能なものとすること。
⑵　公表性能の保障、品質確保を証明するため、第三者機関である(株)日本消防設備安全センターによる評定試験に合格した装置とすること。
⑶　性能は、最大水流量600ℓ /min以上、最大空気吐出量3,200ℓ /min以上とし、最大泡吐出量3,800ℓ /min以上とする。また、左右のポンプ操作盤液晶ディスプレイ内に、泡の吐出量を確認するための泡流量計を設けること。
⑷　泡吐出圧力は、0.3MPa～1.0MPaまで無段階調整ができるものとし、吐出泡流量は、スロットル操作で調整できるものとする。
⑸　ＣＡＦＳの操作は、ポンプ操作装置で行えるものとし、湿式泡と乾式泡、泡原液濃度の切り替え操作は、ワンタッチで行えるものとする。なお、切り替え及び変更操作は、放水中でも可能とし、一定の問題が発生した場合は、エラー情報を表示すること。
⑹　泡放射時に、水での放水も同時に行うことができるようにすること。
⑺　コンプレッサーの油温が過熱すると警報を発する安全装置を取り付けること。
⑻　泡原液の供給ができなくなった場合、スラッグフロー防止のため、自動的に水のみの放射に切り替わる構造とすること。
⑼　コンプレッサーは、メンテナンス性を考慮し国産製品とし、部品を確保しておくものとする。
⑽　コンプレッサーは、できる限り小型の物とし、スペースを有効利用できるよう艤装すること。
⑾　簡潔な放射を可能とするため、揚水完了後、３動作操作以内で放射が可能なこと。
⑿　混合装置は、圧縮空気泡における水流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して、混合比を設定する電子式比例混合式とすること。
⒀　混合装置の混合比は、ワンタッチで変更できるものとし、放水中でも変更可能とすること。また、泡原液濃度の設定は0.3～1.0％の間で８段階以上の設定が可能な構造とし、左右の液晶ディスプレイ内で設定ができるようにすること。
⒁　泡原液（クラスＡ泡消火薬剤）は、環境に優しい環境保全型消火薬剤で、日本消防

検定協会の型式を取得し、型式適合検定に合格したものとすること。

⑮　本装置の構造は、ポンプ室左右の水ポンプ吐水口を使用し、ポンプ操作盤の操作により、容易に泡放射と水放水の切替えが可能な構造とすること。なお、誤操作防止のため、消火泡吐出口を専用で設けないこと。

⑯　圧縮空気泡消火装置の混合器で作られたクラスＡ泡消火薬剤混合液を吐水可能なものとする。操作は、左右ポンプ操作盤で可能なこととし、原液濃度の設定は0.3～1.0%の８段階の設定可能な構造とする。放射は、左右の水泡兼用吐水口より可能な構造とする。林野火災等で水のうに混合液の補充が可能なよう吐水口に取付け可能な蛇口付媒介金具を付属すること。

⑰　コンプレッサー作動不良時の非常用揚水措置として、外部からの空気供給口を設け、空気呼吸器用ボンベを利用し、圧縮空気をエゼクター式真空形成装置に送り込むことによって揚水を可能とすること。空気呼吸器用ボンベを使用する場合の減圧弁及びホースは車載できるものとし付属すること。

8　吸水及び放水

⑴　吸水口は、７５㎜ボールコック式とし、自在式エルボを取り付け、吸管が前後自由に移動できるようにし、ストレーナーを取り付けること。

⑵　吸管取付金具は、エプロンステップ等を使用せずに隊員が容易に外せる高さとすること。なお金具はワンタッチ式金具とし、力を入れずに脱着ができるよう工夫すること。

⑶　呼水装置を設け、揚水完了が目視できる確認カップ及びバルブを取り付けること。

⑷　中継口は、６５㎜ボールコック式（ストレーナー付）をポンプ両側に各１個設け、町野式メス（蓋付）とすること。

⑸　放水口は６５㎜ボールコック式を車両の左右に各２個設け、町野式オス金具（６５・５０㎜マルチコネクター）を取り付けること。

⑹　吸水口、放水口、中継口、タンク送水口のコックは、すべて前方開きとすること。

⑺　各ボールコックにはドレンバルブを設け、コックは90度式で車体下回りではなくポンプ室内に集約取付すること。

9　燃料タンク

⑴　ポンプ室内に燃料タンク（７０Ｌ前後）を取り付け、取り付け場所は重心バランスを考慮し、可能な限り低い位置とすること。

⑵　給油口は、外板に扉を作製して銘板を取り付けること。また、外板に作成した扉の位置は給油ノズルが干渉しないよう配慮すること。

10　キャビン

⑴　キャビン外装

ア　キャブ上部は、軽量かつ、十分な強度を有し、耐久性、耐熱性に優れたＧＦＲＰ(ガラス繊

維強化プラスチック)製を利用したハイルーフとすること。

イ　キャブ上部側面左右には、埋め込み式の標識灯及び長さ600㎜のＬＥＤ作業灯を装備し、車両周囲における夜間活動時の安全を確保できる構造にすること。

ウ　赤色警光灯はキャブ側面方向及び前方方向に発光するようレイアウトし、高輝度オールＬＥＤとすること。

エ　電子サイレン用アクティブ制御スピーカー及びモーターサイレンをルーフ中央に内蔵型で取付けること。

オ　キャビン左右に乗降用踏台をアルミ縞鋼板で堅牢に作製し、安全に乗降できるようにすること。

カ　キャビン左右に、乗降のため必要箇所に手摺りを堅固に設置すること。(位置別途協議)

キ　キャビン上部中央部付近に対空標示を施すこと。(位置等、文字サイズ別途協議)

ク　車両前面中央部に直径１８０㎜のプラスチック製クロームメッキ仕上げの消防章を取り付けること。

ケ　ナンバープレートには、ステンレス製のメッキ保護枠を設けること。

コ　フロントグリルはメッキ製とすること。

⑵　キャビン内装

ア　キャビン前席及び後部座席天井に、地図等が読み取れる照度のＬＥＤ照明灯を設けること。スイッチは取り付け部付近に設けること。

イ　助手席左前側支柱部に、スイッチ付きフレキシブルアーム式ＬＥＤスポットライトを、運転席方向を照らさないよう下向きに取り付けること。

ウ　キャビン内上部の電気配線は、整理して天井内に埋め込み配線とすること。

エ　前席及び後席は座面より1,200㎜の高さを確保し、後部座席についてもキャビン床より1,600㎜の高さを確保すること。

オ　フロントガラス等の曇止め防止装置（空調設備）を取り付けること。

カ　運転席と助手席との間にコンソールボックスを設け、電子サイレン及び各スイッチ類（赤色灯、サイレン、各照明灯、サーチライト等）を収納し上面に蓋を取り付けること。(位置等別途協議）なお点検等のため、蓋は簡単に取り外せる構造とする。

キ　デジタル無線機（支給品）、無線用送受話器をコンソールボックス付近に取り付けること。

ク　前席シート背当ての裏側に走行時の安全確保に必要な手摺りを設け、Ｓ字フックを６個取り付け、走行時の音を軽減するため、ビニールカバー等で覆うこと。

ケ　キャビン後部座席上部を２００㎜程度ハイルーフ化し収納棚を取り付けること。

　キャビン前部座席上部を２００㎜程度ハイルーフ化しサイドルーフラック（落下防止バンド付）を取り付けること。

コ　コンソールボックス後方に、書類及び充電式ライト等を入れることのできる収納箱（底部固定式）を設けること。(寸法等別途協議)

サ　キャビン内最後部に、空気呼吸器４基をセットできる金具（マジックバンド式）を取り付け、上部に防火衣を掛けるフックを４箇所設けること。

シ　後部座席座面は、フラットシートとすること。

ス　トランジスタメガホンを固定する金具を設置すること。（位置等別途協議）

セ　フロントガラス付近の有効な位置に配線を施し、ドライブレコーダーを設置すること。

ソ　視認性の良い位置に、デジタル時計を設置すること。

タ　キャブチルト時、キャビンを最も高い位置まで持ち上げた状態を維持するためメカニカルなロック装置を設け、ロック装置が機能していない場合の警告措置（警告音等）を設けること。

チ　座席に防汚シートカバーをすること。

ツ　運転室内に機関員が視認しやすい位置に、カーナビゲーションを取り付けること。

なお、カーナビゲーションについては、バックカメラ及びテレビチューナーを有しないものとすること。

テ　運転室内に機関員が視認しやすい位置に、後方確認カメラシステムのモニターを取り付けること。

ト　運転席付近に車両総重量・全長・全幅・全高を記したプレート等を設けること。

11　車　体

⑴　ボデー側板は２．０㎜以上の鋼板、サイドエプロン、フェンダー等は１．６㎜以上の鋼板を使用し、各種積載品の取り付け金具は堅固に固定すること。

各ボデー鋼板の裏側接続を行う際は、シリコン詰め等水密及び防錆処理を完全実施すること。また、長期の使用にも耐え得るように施工すること。

⑵　各ステップ（サイド、リヤ）は厚さ３．２㎜以上の強力な防錆性能を有したアルミ縞板とすること。各ステップとも堅牢に作成し、１５０kg以上の荷重にも耐え得るように施工すること。

⑶　リヤステップ付近の最低地上高は、資機材と水を積載し定員が乗車しても４００㎜以下にならないようにすること。

⑷　フロント及びリヤドアのサイドシル部、梯子乗降部、リヤフェンダーの吸管接触部等の塗装が剥がれやすい箇所に保護板を設けること。

⑸　各金属板の外周は、内折れ加工とし点検等に危険のない構造とすること。

⑹　車両後部右面に、上部面乗降用のステンレス製梯子を堅固に取り付けること。

⑺　乗降用梯子下部のコンビネーションランプは、埋め込み式とすること。

⑻　車体上部の周囲で安全上必要な場所に１段の手摺り（直径２５㎜ステンレスパイプ）を設けるか、又はあおり仕様とすること。

⑼　ステップ、ボックス等の水の溜まる箇所には水抜き孔を設けること。

⑽　上部一面は、アルミ縞鋼板でフラット式としポンプ室点検口、水槽用マンホール点検のため

の開閉扉を取り付けること。

⑾　ポンプ室点検口は、２枚の蓋または扉で開口できるものとすること。

⑿　左右のフェンダー（開閉式、ステップ兼用）内にステンレス製の救助固定用支持金具を各１個取り付けること。（位置別途協議）

⒀　左右側面上部にＬＥＤ式作業灯（長さ７４０ｍｍ以上）を各２個取り付けること。

⒁　車両後部にＬＥＤ式作業灯（長さ８００ｍｍ以上）を１個取り付けること。

⒂　キャビンと車体の間にＬＥＤ照明灯（サーチライト）を２基取り付けること。

暴風等の悪天候下でも使用可能とし展開、収納等の作動時に隊員保護のための安全装置を備えていること。

⒃　車両の前部に牽引用のフックを取り付け、作業時ワイヤー等がボデーに接触しないように施すこと。

12　ボックス類

資機材の落下や盗難、凍結防止に配慮し、車体側面左右２枚、後部１枚の鍵付オールシャッターで耐久性、防水性を有する堅牢な構造とし、開閉は任意の位置で停止できる機能が確実な物であり、走行振動等により歪み、ガタつき防止又は開放の恐れのないロック装置を設けること。（区画、収納方法等別途協議）

仕様書に掲げる資機材を車両総重量７ｔ未満に収まるようレイアウト設計を行うこととし、必要に応じて可動式棚や展開パネル、引出装置、落下防止手摺り、仕切り板、収納箱などを設けること。（詳細別途協議）

シャッターは下げ降ろしベルトを取り付け、ベルトを固定できるマジックテープを取り付けること。

⑴　バッテリー収納ボックス

キャビンの右後部下に防水性を有するボックス内に収納し、バッテリーを容易に固定又は解除できる引き出し式で点検等が容易に行えるような構造にすること。　資機材等収納ボックス

キャビンの左後部下に、資機材（媒介、ホースバンド等）を収納するボックス（スノコ敷き）を設け、扉は開閉式ステップとし、上面はアルミ縞板張りとすること。

⑵　外部用無線機送受話機収納ボックス

ア　車両左右計器盤周辺に、外部用無線機送受話機収納ボックスを取り付け、付近にスピーカーを取り付けること。（位置別途協議）

イ　運転席側ボックス内に動態スイッチを取り付けること。（運転席側）

ウ　必要に応じ、仕切り板、収納箱を作成し資機材を収納すること。（別途協議）

シャッター下げ降ろしベルトを取り付けること。

※各ブロック（スノコ敷き）ごとに転倒、落下防止用のマジックテープ又はロック式ベルト各２箇所及びＬＥＤ照明灯を取り付けること。

⑶　左側面後方ボックス（資機材収納）

左側面後方に常時取付の１０m吸管および吸管巻き内に消火栓開閉具やスタンドパイプ等の資機材をストップロック部品で迅速に取り外しできる構造で取付すること。（区画、収納方法等別途協議）

付近にＬＥＤ照明灯を取り付けること。

⑷　右側面後方ボックス（資機材収納）

右側面後方に資機材を収納できるボックス（スノコ敷き）を設けること。必要に応じ、仕切り板（高さ調整可能）、収納箱を作成し資機材を収納すること。（区画、収納方法等別途協議）

付近にＬＥＤ照明灯を取り付けること。

⑸　車体上部にアルミ縞板製資機材ボックスを設けること。

扉は上開き、外側上部にステンレス製の蝶番、ストッパー付（ダンパー）、内面の底部には「すのこ」を敷き、ボックスの下にH鋼等（完全な防錆対策を施す）で、空間を設けること。ストッパーは十分開いて安定した位置で固定し、走行による振動や衝撃等にも緩みや、ガタつくことのないよう施工すること。（位置別途協議）

⑹　後部収納ボックス

車両後部中央にシャッター式の収納ボックスを設けること。

上段に仕切り板を設け（寸法別途協議）、資機材を収納すること。

必要に応じ、収納箱を設けること。（別途協議）

下段に車輪折りたたみ型加納式ホースカーを収納すること。なお、動力昇降装置と昇降用スイッチを付近に設け、隊員１名でも容易かつ安全確実に積み降ろしができること。

装置は走行時の振動、衝撃等に耐え得る堅固なものとすること。

※各ボックスは堅牢かつ水密構造とし必要箇所には仕切り板を設け、蝶番ネジ類はステンレス製とすること。（寸法は収納品、側板高さ等により変更する場合がある。）

車両後部ボックス内（ホースカー収納奥）に小型ポンプ収納スペースを設けること。

Ｃ－１級の小型動力ポンプ（ＶＥ２０Ａ）を収納できる大きさとし、金属性架台（ローラー式引き出しレール、ハンドルストッパー付）を設け内部にＬＥＤ照明灯を取り付けること。

扉部にストッパーを取り付け、下方に開き二人で両側から取り出せるようにすること。

13　計器類

⑴　ポンプ室両側の計器盤には圧力計、連成計、流量計、真空計を設けること。

⑵　運転席から見やすい箇所にエンジン回転計及び油温計を取り付けること。

⑶　車両右側面にポンプ回転計を取り付けること。

⑷　車体前後左右にシグナルコミュニケーター式ＬＥＤ補助警告灯ＬＰＰ－３１－２０を設け、緊急走行中は車両のウインカーと連動し、周辺一般車両への注意を促すよう点滅すること。また、消火活動時は消防車両のポンプの運転状況をモニタ装置の信号と連動させ、ＬＥＤ赤色点滅灯の点滅パターンによって、火災現場に従事する消防隊員等にポンプの運行状況を知らせる

ものとする。また、操作上の異常が発生した場合は、点滅灯に連動して音声にて異常の内容とその対処法を音声ガイダンスにより発すること。

・点滅パターンは以下の通りとする。

ア ポンプ待機モード （ポンプの動作に連動）

イ ポンプ放水中モード （ポンプの動作に連動）

ウ 警報/エラーモード （ポンプの動作に連動）

エ 緊急走行モード （赤色警光灯に連動）

オ 右折モード （車両ウィンカーに連動）

カ 左折モード （車両ウィンカーに連動）

キ 高警告モード （オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

ク パトロールモード （オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

ケ 現場活動モード （オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

コ 住宅走行モード （オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

サ 現着減光モード （オーバーヘッド部にスイッチを設ける）

・音声ガイダンスは以下の通り

ア 冷却水警報

イ 真空タイム警報

ウ 吸水圧力警報

エ 低圧中継警報

オ 高圧中継警報

⑸ 夜間での活動時など、周辺環境の照度が低下し、ポンプ操作盤液晶ディスプレイの自動調光機能が働いた場合には、自動的にポンプ動作中の補助赤色灯の明るさを下げ、作業への支障を軽減できるようにすること。

⑹ 計器類の取り付け部分はステンレス板とすること。

⑺ 夜間作業に必要な箇所にＬＥＤ照明灯を取り付けること。

14 冷却装置

⑴ 標準装備仕様とし調整バルブは操作に便利な位置に設けること。

⑵ 配管には、予備回路付のストレーナーを設けること。

15 警報信号装置

⑴ 赤色警光灯はキャブ側面方向及び前方方向に発光するようレイアウトし、高輝度オールＬＥＤ(大阪サイレン製MRA-B310)とすること。

⑵ 電子サイレン用アクティブ制御スピーカー及びモーターサイレンをルーフ中央に内蔵型で取付けること。

⑶ 散光式警光灯(モーターサイレン内蔵)をキャビン上部に取り付けること。

⑷　赤色ストロボ式点滅灯（ＬＥＤ）を車両前部左右、左右側面上方（各３個）、後部左右上方に取り付けること。

車両後部赤色ストロボ式点滅灯には、保護枠付きで設置すること。（位置等別途協議）

16　塗装及びメッキ

⑴　塗装の外面は朱色（消防車緊急車仕様）とすること。

ア　フレーム、フェンダー内側、ステップ裏側、その他車体の下回りは黒色とすること。

イ　ステップ並びに床面は、アルミ縞板仕上げとすること。

ウ　補修用塗料として、朱色と銀色各１色付属させること。

⑵　塗装は素地調整を行った後、プライマー塗り、パテ付け、水研ぎ、サフェイサー等の工程で下地処理を完全に行い、良質のウレタン塗料を使用し３回以上の上塗りで仕上げること。

⑶　次のものは上質のアルマイト処理を行うこと。

計器盤、各操作レバー、把手、手摺り、止金具、照明灯、筒先金具その他塗色以外の露出部。ただし、鉄製品は銅メッキのうえ行うこと。

⑷　各配管は動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（第１０条）の塗色とすること。

⑸　車体の下回り及びアルミ縞鋼板部分は、塩害を考慮し塗装を施すこと。

17　デジタル無線機関係

⑴　デジタル無線機（本体支給品、共用機含む）を現有車両から取り外し、新規購入車両へ乗せ替えること。（セットアップ含む）施工については当組合と協議し調整すること。

⑵　キャビン上部にデジタル無線機用のアンテナを２本取り付けること。

アンテナ間の距離は１．２ｍ以上開け、アンテナ基部に障害物に有効なスプリングを取り付けること。（位置別途協議）

室内のアンテナ取り付け位置からデジタル無線機まで空中線ケーブル（新規品）を配線すること。

送受話器は無線機本体、車両左右側板の計３個とし、無線機本体の送受話器は支給品、車両左右側面は新規品とし、車外通話器までの配線を施し堅固に取り付けること。

⑶　デジタル無線機取り付け金具をコンソールボックス付近に取り付けること。

（位置別途協議）

⑷　バッテリーから無線機までの電源ケーブルは外観を考慮し配線し、接続端子を取り付けること。

接続端子は容易にはずれない端子を使用すること。

⑸　電気回路には、短絡等による部品の損傷を最小限にするための保護装置（ヒューズ等）が、系統別に区分して設けられていること。

⑹　キャビン内にデジタル携帯無線機充電用のコンセント（ＡＣ１００Ｖ）を設け、外部電源で充電できること。

18　車載型端末装置（以下「ＡＶＭ」という。）関係

⑴　ＡＶＭ（本体支給品）を現有車両から取り外し、新規購入車両へ乗せ替えること。（セットアップ含む）施行については当組合と協議し調整すること。

⑵　コンソールボックス付近にＡＶＭを架台付で取付けること。（セットアップ含む）

⑶　ＡＶＭまで空中線ケーブル（新規品）を配線すること。

⑷　ＡＶＭ用の電源を設け（新規品）、本体まで配線すること。

19　記入文字

⑴　キャビン左右側面

ア　文　字　　「安房郡市消防本部」「館山ポンプ１」「千葉県」

イ　色　等　　丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）

ウ　その他　　両側面とも左書きとすること。

両側面に「安房消防エンブレム」を付けること。（寸法等別途指示）

⑵　車体後部

ア　文　字　　「安房郡市消防本部」　「館山ポンプ１」「千葉県」

イ　色　等　　丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）

⑶　キャビン上部

対空標示文字　「館山ポンプ１」又は「館山Ｐ１」（字体、寸法別途指示）

⑷　散光式警光灯（標識灯）

「館山消防署」（字体、寸法別途指示）

⑸　車体前部

ア　文　字　　「館山ポンプ１」「千葉県」

イ　色　等　　丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）

⑹　車体側面左右シャッター部

ア　文　字　　「AWA FIRE DEPT.」

イ　色　等　　丸ゴシック体、白色（寸法等別途指示）

20　その他

⑴　ボデー外面に使用するボルト、ナット、ワッシャー類はすべてステンレス製とし、ナットを使用せずにボデー鉄材等に直接ネジを切る場合は、ボルトの径と同じ厚さになるように当て板を溶接するか、溶着ナットを使用すること。

⑵　車両前面中央部に直径１８０㎜程度のプラスチック製クロームメッキ仕上げの消防章を取り付けること。

⑶　後部ナンバープレートの取り付け位置は、車体後部とし周囲に堅牢な保護枠を設け、道路運送車両法施行規則第７条を遵守し取り付ける。（詳細位置については別途協議）

⑷　各機器操作部には、名称、矢印、取り扱い方法を記入したプレートを設けること。

⑸　各手摺りは直径２５㎜以上のステンレスパイプを使用すること。

⑹　フロントバンパー上面等の足を掛ける場所に、アルミ縞板による保護板を取り付けること。ただし、標準装備で同程度の機能を有するものが施工されている場合は除く。

⑺　キャブと車体間にＬＥＤ照明灯を左右各１基取り付け、１ｍ程度のアルミ製軽量伸縮柱で地上から容易に展開、旋回、収納が可能であること。

　暴風等の悪天候下でも使用可能とし展開、収納等の作動時に隊員保護のための安全装置を備えていること。

⑻　灯火類、照明灯類には必要に応じステンレス製保護枠を取り付けること。

⑼　ヒューズボックスを増設し、機器はすべてヒューズを通すこと。（コンソール部）

⑽　キャビン内に乗降の際、足の接触する部分にはアルミ製保護板を取り付けること。

⑾　ドアにサイドバイザーを取り付けること。

⑿　左サイドミラーは電動収納式で取り付けること。

⒀　フロントガラス外面の上側及び下側にそれぞれ把手を取り付けること。

⒁　ボデー下部のリヤタイヤ前方左右に保護枠付ＬＥＤ型路肩灯を堅固に取り付けること。

⒂　外部電源コネクター（車両側マグネット式）を運転席側に設け防水措置を施すこと。また、車両バッテリー等の簡易充電、オイルパンヒーターも行える切換え両立仕様でコードの長さは１５ｍとする。

⒃　GPSカーナビゲーション（テレビチューナーレス）を指示する場所に取付けること。

⒄　後方確認カメラシステムを指示する位置に設置すること。

⒅　ドライブレコーダーを指示する位置に設置すること。

⒆　雨天時においても使用できる資機材注記用シールを大小必要数つけること。（枚数、字体等別途協議）

⒇　許容荷重のあるものについては腐食や変形に強い素材を使用した銘板を取り付けること。

※取り付け品、付属品の積載場所方法については別途指示し、必要なもの及び特に指示するものは現物合わせによること。

## 第３　付属品

１　ホースカー

⑴　６５㎜ホース８本を収納可能な構造であること。

⑵　管鎗（５０㎜アルミ製)、分岐管（ＷＢ－６５ＭＣ）及び媒介金具（65㎜メス×50㎜オス）を積載可能な構造とすること。

⑶　ホースカー上部に、小型ポンプが積載可能であること。

⑷　制動装置を設けること。

⑸　停止時、ホースカーが平行になるようスタンドを設けること。

⑹　ホースカー四面に反射テープを取り付けること。（色、位置等別途協議）

2　三連梯子及び積載梯子昇降装置

⑴ 車体上面に三連梯子（とび口取付金具含む。）を積載するための手動昇降装置を備え、昇降操作は省力化を図ること。

⑵ 操作は地上で行えること。また、ロック機構は、安全確実な構造で操作を地上で行えること。

⑶ 身長１５０ｃｍ程度の使用者が操作しやすく、かつ展開時に架台と地上との高さが三連梯子の積み下ろしを安全に行えるよう展開角が最大75度以上とし、可能な限り近づける工夫を行うこと。

⑷ 三連梯子積載装置はアルミニウムおよびステンレス製を主とした材質で構成された錆や塗装剥がれに配慮されたものとすること。

3　小型ポンプ

小型ポンプ（ＶＥ２０Ａ）を、後部収納ボックス（ホースカー奥）に積載すること。

容易に取り出せ、走行等の振動に耐え得る構造とすること。

放水口を５０㎜/６５㎜のマルチコネクターとすること。

4　吸管

⑴　車両用左側の吸管は、７５㎜軽量吸管（スーパーデラックス）とし、灰色（反射線入り）１０ｍをポンプ室左側に１本積載すること。（吸管の巻きは真円とする。）

化学繊維製耐水ロープ（直径１０㎜　長さ１５ｍ）を左側用に１本付けること。

プラスチック製塵よけ籠を左側用に１個付けること。

⑵　車両用右側の吸管は、７５㎜棒吸管（１０ｍ別途協議、分割式）とし車両屋上面へ積載可能な固定金具により固定又はボックス内に収納できるものとする。ポンプ室右側吸水口へ取り付けられることが可能な媒介を吸水口及び棒吸管の片側に設け吸水口から１０ｍ延長できるものとし、さらに左側吸管に取り付けも可能な構造とすること。

化学繊維製耐水ロープ（直径１０㎜　長さ１５ｍ）を右側用吸管に１本付けること。

プラスチック製塵よけ籠を右側用に１個付けること。

⑶　小型ポンプ用吸管は、６５㎜軽量吸管（６ｍ分割式）とし、屋上面のポンプ室点検開閉扉に支障のない位置に固定金具により固定すること。

化学繊維製耐水ロープ（直径１０㎜　長さ１０ｍ）、プラスチック製塵よけ籠、プラスチック製ストレーナー付きとすること。

※高速走行時を考慮し、塵よけ籠等が暴れないための処置を施すこと。

5　照明器具

充電式照明器具（高輝度ＬＥＤ）で、最大光束３６００ルーメンで光束調整可能、収納時高さ１．３ｍ、最大高さ２ｍに調整可能な三脚に取り付けられるものとする。　蓄電池は、高質力バッテリーを使用し、この照明器具の能力を最大限発揮した場合、３時間３０分以上の照明時間を可能とする。また、附属品で充電器、電源コード、防眩フィルムを含むものとする。（積載位置別途協議）

本品を積載装置付きで取り付け、走行時の振動等に耐え得る構造とすること。

6　とび口

とび口（３本）を堅固な取り付け金具にて設け、刃先部分に安全枠を設けること。(位置等別途協議)

7　消火器

ＡＢＣ粉末消火器(薬剤質量６ｋｇ入り車載用、カバー付き)を固定金具により積載すること。（位置別途協議）

8　バックボード（積載位置装置付）

バックボード本体、ヘッドイモビライザー、ストラップ１組、ベルト６本（バックルはプラスチック製）を積載装置付で取り付けること。(位置別途協議)

**第４　補　足**

1　車両の納入期限は令和１０年３月３１日（金）とする。

受注者は、社会情勢の影響等、受注者の責めに帰すことができない理由により、上記納入期限の履行が不能となる場合は、その理由を明示した書面により、発注者に納入期限の延長変更を請求することができる。

発注者は、上記請求があった場合において、必要があると認められるときは、納入期限を延長しなければならない。

2　車両の納入は受注者が行い、車両納入までに行う検査に要する費用等、納入までの間に要した費用の一切を受注者が負担すること。ただし、リサイクル料、自動車損害賠償責任保険料、重量税は組合が負担するため、別途請求すること。

3　金額については、支給品等の設置工事費及び上記物品の取り外し費用を含め計上すること。

4　車両の搬入、搬出、保管時の事故責任は、受注者が負うものとする。

5　納車後、必要により組合の指定する日程で、すべての取り扱い説明を行うこと。

6　車両の納入先は、安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部とする。

7　仕様書中、型式に指定があるものについては、仕様を確認の上納入するとこ。なお、同等品を納入する場合は、事前に同等性能の証明書類を提出し、当組合の承認を得ること。

【取付品及び取付装置】

| Ｎｏ | 品　　名 | 数　量 | 寸　　法 | 取付位置 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| １ | ポンプ圧力計 | ２ | １００㎜ | 左右各１ | |
| ２ | ポンプ連成計 | ２ | １００㎜ | 左右各１ | リタード式 |
| ３ | エンジン回転計 | １ | | | |
| ４ | エンジン油温計 | １ | | | |
| ５ | 散光式赤色警光灯 | １式 | | キャビン上部 | スピーカー及び標識内蔵型<br>「館山消防署」名入り<br>参考NF-L-VA2M-HC2-LF型 |
| ６ | 電子サイレン | １式 | | コンソール | Mark-D3（津波警戒、DRヘリ、林野火災警報） |
| ７ | 照明灯 | ２ | | | サーチライトクアトロビーム（MYS-75LP）/ポール（PL-511）（押上げタイプ） |
| ８ | 後退警報ブザー | １ | | 後退灯付近 | 音声付 |
| ９ | 標識灯 | １ | | | №５に含む |
| １０ | GPSﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ | １式 | | メーカー純正品　チューナーレス | |
| １１ | 電動サイレン | １ | | | モーターサイレン |
| １２ | ポンプ真空計 | ２ | １００㎜ | 左右各１ | |
| １３ | ポンプ回転計 | １ | | 側板右側 | |
| １４ | 流量計 | ２ | | 左右各１ | 積算流量計（内蔵型） |
| １５ | キャブチルト装置 | １ | | | 電動油圧式 |
| １６ | オイルパンヒーター | １ | | キャプタイヤーコード１５mマグネット式電源コード付き（バッテリー充電兼） | |
| １７ | 作業灯 | ５ | | 左右側面上部各２<br>車体後部１ | ＬＥＤ740mm×4/ＬＥＤ800mm<br>（車体後部は保護枠付き） |
| １８ | 車外無線送話機取出口 | ２ | | 左右各１ | ボックス型 |
| １９ | 反射材 | 一式 | | 左右側面、後部 | 主要各ステップ周囲 |

【附属品】

| Ｎｏ | 品　　名 | 数　量 | 寸　　法 | 取付位置 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| １ | 吸管 | ２ | １０ｍ | 左側用１ | 軽量（反射線入り） |
| | | | １０ｍ | 右側用１ | 分割式棒吸管 |
| ２ | 吸口ストレーナー | ２ | | | ステンレス製 |
| ３ | 吸管ストレーナー | ２ | | | プラスチック製 |
| ４ | 吸管ちりよけかご | ２ | | | プラスチック製 |
| ５ | 吸管まくら木 | ２ | | | |
| ６ | 吸管ロープ | ２ | 10㎜×15ｍ | 岩﨑製作所ストカゴ用 | |
| ７ | 消火栓金具 | ２ | ７５㎜メスネジ×６５㎜メス、キャップ付き、プロテクター付き | | |
| ８ | 中継用媒介金具 | ２ | ６５㎜メスネジ×６５㎜差込メス、キャップ付き | | |
| ９ | 消火栓開閉金具 | １式 | スピンドルドライバー１　蓋開け金具２　蓋開け金具（フック）２<br>立ち上り消火栓キー２ | | |
| １０ | 吸管スパナ | ２ | | | |
| １１ | 管そう | ２ | ヨネ　スーパーストリーム管そう　PP-50A・EXS・L | | |
| | | | ヨネ　無反動管そうα　PL-50A | | |
| １２ | ノズル | ６ | エコファイターノズル×２ | | |
| | | | アクロンターボジェットノズル・バリアコアエクステンション付 | | |
| | | | ヨネ　ヴァリアブルノズル（23ｍｍ　NV-65BX）×２ | | |
| | | | ヨネ　19ｍｍスムースノズル | | |
| １３ | 放口媒介金具 | ４ | ６５㎜メスネジ×マルチコネクター（50.65）×２<br>６５㎜メスネジ×マルチコネクター（50.65）×２（自在金具） | | |
| １４ | とび口 | ３ | １．８ｍ | | 車両固定金具含む |
| １５ | 金てこ | １ | １２００㎜ | | 先端部ハガネ入り |
| １６ | 剣先スコップ | １ | | | ステンレス柄 |
| １７ | ホース延長用資機材<br>（ホースカー） | １ | | 車体後部 | 軽量 加納式 |
| １８ | 積載はしご | １ | チタン製三連式（キャスター付き）NSH－t87 | | |
| １９ | 車輪止 | ２ | | | ゴム製大型 |
| ２０ | 消火器 | １ | | | ABC粉末6kg入り(車載用) |
| ２１ | ポンプ工具 | １式 | | | |
| ２２ | 消防用ホース | ２０ | ６５㎜（使用圧1.6MPa以上）低圧損ホース２０本 | | |
| | | １０ | ４０㎜（使用圧1.6MPa以上）低圧損ホース１０本 | | |
| ２３ | タイヤチェーン | １式 | シングルタイヤ用 | | |
| ２４ | 分岐管 | ２ | ＭＣ分岐ボールバルブ65メス/65・50マルチオス | | |
| ２５ | ホースブリッジ | １式 | ゴム製　ＣＢ－４５０ | | |
| ２６ | ワイヤー | １ | 牽引用 | | |
| ２７ | 照明器具 | １式 | マキタ充電式スタンドライト ＭＬ００４Ｇ<br>バッテリー　マキタBL4040F×2充電器　２本同時充電タイプ | | |

| Ｎｏ | 品　　名 | 数　量 | 寸　　法 | 取付位置 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| ２８ | おの | １ | | | |
| ２９ | 掛矢 | １ | | | |
| ３０ | ホースカバー | １式 | | | |
| ３１ | スタンドパイプ | １ | | | ヨネＰＳ－６５（７１５ｍｍ） |
| ３２ | 赤色ストロボ式点滅灯 | ６ | | | LED型ストロボライト、車両前部、左右側面、後部 |
| ３３ | 計器灯 | ２ | | | LED |
| ３４ | 空気呼吸器（A-1） | ４組 | ※ボンベ無し | キャビン内後部 | （４セット）面体カバーグラスＡ１－１２型　面体収納袋付※レスクマスクなし |
| ３５ | 空気呼吸器固定金具 | ４ | | キャビン内後部 | マジックバンド式 |
| ３６ | 背負い式消火水のう | ４ | | | ジェットシューター |
| ３７ | 油圧電動昇降装置 | １式 | | | 加納式ホースカー用 |
| ３８ | 梯子昇降装置 | １式 | | 車体上部 | 手動式 |
| ３９ | 牽引用フック | １ | | 車両前部 | 引張荷重２ｔ以上 |
| ４０ | 無線機移設 | １式 | | 本体（支給品）、空中線等（新品）セットアップ含む | |
| ４１ | ＡＶＭ移設 | １式 | | 本体（支給品）　セットアップ含む | |
| ４２ | 吸口自在式エルボ | ２ | ７５㎜ | 左右各１ | YONEスーパースイングエルボ |
| ４３ | ホースバック | ２ | | | 渋消式　FS1型 |
| ４４ | トラロープ | １ | | | ９㎜×１００ｍ |
| ４５ | ポンプ室内灯 | ２ | | | LED型 |
| ４６ | 発電機収納ボックス室内灯 | １ | | | LED型 |
| ４７ | ボックス内室内灯 | １式 | | | 両側、後部ボックス内照明 |
| ４８ | 後部座席照明灯 | １式 | | | LED型 |
| ４９ | スポットライト | １式 | | | スイッチ付(助手席ピラー部) |
| ５０ | 路肩灯 | ２ | | 左右後輪部 | LED型　保護枠付 |
| ５１ | 後尾灯 | ２ | | | 保護枠付き、バックランプ組込 |
| ５２ | フォグランプ | ２ | | | 標準装備の場合は除く |
| ５３ | コンソールボックス | １ | | キャビン内 | 無線機（支給品）、デッキ、サイレンスイッチ類取り付け |
| ５４ | 小型動力ポンプ | １ | C1級VE-20A | | |
| ５５ | 吸管（分割式） | １ | 65ｍｍ×6m | 上部 | 車両固定金具含む |
| ５６ | 枕木 | １ | | | |
| ５７ | 吸管止めバンド | ３ | | | |
| ５８ | 吸管ロープ | １ | 化学繊維製耐水　10ｍｍ×10m | | |
| ５９ | 安全中継媒介 | １ | 65ｍｍネジ×65ｍｍメス | | トーハツ　コワレンゾー |
| ６０ | 吸管ストレーナー | １ | 65ｍｍ | | プラスチック製 |
| ６１ | 吸管塵除けかご | １ | 65ｍｍ | | プラスチック製 |

| Ｎｏ | 品　　名 | 数　量 | 寸　　法 | 取付位置 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| ６２ | 放水口金具 | | 50ｍｍ/65ｍｍ | | マルチコネクター |
| ６３ | 放口レンチ | ２ | | | 吸管兼用 |
| ６４ | 泥除け | ４ | | 全輪 | |
| ６５ | スペアタイヤ | １ | 車両取り付けタイヤと同一種類（全天候型ラジアル） | | |
| ６６ | フロアマット | １式 | | | 前後席用 |
| ６７ | 曇防止装置 | １式 | | | エアコン(標準装備の場合は除く) |
| ６８ | 乗降用梯子 | １ | | 後部右側 | ステンレス製 |
| ６９ | 燃料缶 | ２ | ５L缶 | | ガソリン用　ＴＳ-5 |
| ７０ | 反射式合図灯 | ３ | | | |
| ７１ | 停止表示板 | １ | | | 認定品 |
| ７２ | 三角コーン | ４ | ライトアップコーン<br>（折畳式、ＬＥＤ点滅式、新ニッケル水素電池充電器、おもり付） | | |
| ７３ | 拡声器 | １ | | | レイニーメガホンＴＳ-633Ｒ |
| ７４ | 充電式ライト | ４ | ルミテック製　ストリームライト　099　サバイバー　IEC防爆モデル（標準充電器セット） | | |
| ７５ | 消防章 | １ | | | |
| ７６ | 漏水止め応急バンド | １０ | | | マジックテープ式 |
| ７７ | 隊長用ベスト | １ | セイバーズ　防火服専用ベストFV-1黒ベース白文字　背部上「館山消防署」、背部下「安房郡市消防本部」 | | |
| ７８ | デジタル時計 | １ | | キャビン内 | 飛鳥車体製大型デジタル時計 |
| ７９ | ドライブレコーダー | １式 | | ドラレコセルスターCS-81WQH<br>ドライブレコーダー予備記憶媒体×２ | |
| ８０ | 後方確認用カメラシステム | １式 | | バックモニターカーヴィジョン<br>型式：C5005R・CM7220R・K7210R | |
| ８１ | プライバシーシート | ２ | | クイックシールドＮＥＯ | |
| ８２ | 住宅地図 | １式 | | 館山市、南房総市1・2・3、鋸南町、鴨川市 | |
| ８３ | 工具セット | １ | | KTC工具　SK3561WZR | |
| ８４ | スペアキー | ２ | | | |
| ８５ | ブースターケーブル | １式 | | 大型車用 | |
| ８６ | 達磨ジャッキ | １ | | ７ｔ | |
| ８７ | 牽引用ワイヤー・シャックル | 各２ | | | |
| ８８ | ヒーターサイドミラー | １式 | | | |
| ８９ | バックボード | １式 | 本体　ヘッドイモビライザー　ストラップベルト６本（バックルはプラスチック製） | | |
| ９０ | 携帯型破壊器具 | １ | | ハリガンツール | |
| ９１ | 電動チェンソー | １式 | | マキタMUC032GZR2 350mm<br>（チェーン刃・ガイドバー・カバーセット） | |
| | 電動チェンソーバッテリー・充電器 | １式 | | バッテリー　ＢＬ４０４０Ｆ×２<br>充電器２本同時タイプ | |
| ９２ | 対空表示 | １ | | 「館山ポンプ１」又は「館山Ｐ１」表示文字 | |
| ９３ | 現場見取図板 | １ | | KS―A型 | |

| Ｎｏ | 品　　名 | 数　量 | 寸　　法 | 取付位置 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|
| ９４ | 双眼鏡 | １ | | 海岸監視用　防水　SIWP10×25 | |
| ９５ | 救急資機材セット | １式 | | 消防車EMセットA型（日本船舶薬品）<br>バックと酸素ボンベ以外のもの全て | |
| ９６ | 救急資機材バック | １ | | 消防車EMセットA型（日本船舶薬品）の酸素ボンベ、マスクを抜いたものが収納できるリュック式のもの<br>ワコー　ジャンプキットバックS　WJK-S | |
| ９７ | 救命胴衣 | ５ | | フジクラFN－８０（要救助者用含む） | |
| ９８ | 夜間用筆記板 | １ | | ジョイウンＬＥＤ内照図板（トーレス図板） | |
| ９９ | 布担架 | １ | | 175cm×70cm（持ち手左右３個付き）<br>安房消防仕様 | |
| １００ | 巻尺 | １ | 50m | | |
| １０１ | 酸素バック | １ | | オキシゲンキャリーバックモデル5122 | |
| １０２ | ブースターケーブル | １ | | 大型車用 | |
| １０３ | トリアージシート | １セット | | ＥＴＳ－ＳＨＥＥＴ（5.4m×5.4m） | |
| １０４ | トリアージテープバック | １ | | ＷＴ－Ｂ４ | |
| １０５ | 資器材貼り付け用シール | 適量 | | 文字：千葉県　安房郡市　館山Ｐ | |
| １０６ | 北川式ガス採取器 | １ | AP-20　ケース付き（検知管、鑑識用石油290PⅡ　10回分含む） | | |
| １０７ | 吸管用媒介金具 | ２ | ストカゴ＋ヒッパラー＋ガイドロープ＋差込オス媒介 | | |
| １０８ | 媒介金具 | １１ | ６５㎜メス×６５㎜メス<br>６５㎜オス×６５㎜オス | | |
| | | | ５０㎜メス×５０㎜メス<br>５０㎜オス×５０㎜オス | | |
| | | | ６５㎜メス×５０㎜オス×２<br>６５㎜オス×５０㎜メス<br>５０㎜メス×６５㎜オス | | |
| | | | ６５㎜メス×蛇口（１口） | | |
| | | | ４０㎜オス×５０㎜メス<br>４０㎜メス×５０㎜オス | | |
| １０９ | ホースバンド | １０ | ６５・５０兼用 | シマダ折用マジック式<br>YOKOIPURO<br>（YSBE-007、YSBE-007-L） | |
| １１０ | 防刃ベスト | ４ | イマジョーTX440 | | |